

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	堺市立つぼみ園		
○保護者評価実施期間	令和6年 8月 20日		令和6年 9月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和6年 8月 20日		令和6年 9月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	令和6年 8月 20日		令和6年 9月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 10月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育の実践を活かし、幼児から小学生低学年の児童に対して、丁寧なアセスメントや専門的な支援ができる。また、児童発達支援センターが行っていることもあり期待されることが多い。	こどもの困り感や保護者の思いや悩みなど丁寧に聞き取りアセスメントを行っている。事前に訪問先にかかがい説明を行い支援の役割等訪問先と共有し、スムーズに開始できるよう準備している。訪問員は療育での実践を経験をしているので、訪問先の先生方の困り感にも寄り添いながら具体的かつわかりやすい助言を心掛け取り組んでいる。	こどもへの支援を第一に考えるが、訪問先の困り感について丁寧に聞き取り、支援を行っていく。児童発達支援センターが中核として他の訪問支援事業所との連携を図っていく。
2	多職種の職員がいるため、幅広いニーズに対応できる	保育士や心理士で訪問することが多いが、ニーズに合わせ、より専門的に支援できるよう作業療法士などの専門職も行っている。また、多職種でも話し合い、いろいろな視点から支援方法を検討している。	ケースによって複数の職種で訪問することも検討。個別の訪問支援だけでなく、訪問先の職員研修（出前講座）を行い職員の質の向上につなげる。
3	利用期間を一定期間（1年）決めている	一定期間がある方が、見通しをもって行うことができる。どの時期に利用するのか、保護者や訪問先と検討している。途中で状態が落ち着いてきた場合は、一度中断しその後、支援が必要になった時に再開できるようにしているため保護者は安心できている。	1年利用後に引き続き支援が必要だと思われるケースについては、半年延長も検討する。また、終了した後通所事業所等の利用がある場合は、同じ事業団内の相談支援室の基本相談につなぐことができる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等が参加できる研修、保護者同士交流できる場が必要	保護者が集う場を設定することは、支援の特性上難しい。また、ペアレント・トレーニングとして直接こどもや保護者と一緒に取り組む時間の確保が難しい。	通園の保護者向け研修の情報提供を行う。訪問後保護者に連絡した際に、園での支援の中で特性を踏まえたこどもへの関わり方を伝え、保護者の気づきや家での関わり方につなげる。また園だけでなく家庭での困り感や様子も聞き、家庭での児への関わり方を助言していく。
2	ホームページ等で支援についての情報など発信	ホームページに保育所等訪問支援について掲載しているが、随時SNSなどで発信はしていない。	ホームページのトピックス、SNSを用いて、事業の紹介や事業所との交流会など個人情報にふれない内容を中心に掲載していく。
3	専任がいないため、受け入れられる枠に限られる。開始時期が重なると支援開始まで待ってもらうことになる	他の事業と兼務している職員が訪問支援員として配置されている。4月開始希望が多くなる傾向がある。	開始まで時間がかかるようであれば、他の事業（施設支援等）で支援を行う。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 堺市立つぽみ園

公表日 令和6 年 10 月 30 日

利用児童数

令和6 年 8 月 31 日

回収数 11

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	5	0	0	6		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	11	0	0	0		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	11	0	0	0		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	11	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	11	0	0	0		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	8	0	0	3		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	8	0	0	3		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	0		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	9	0	0	2		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	8	0	0	3	園での様子をみてどのような支援が必要か担任の先生方と話し合いができているようで、担任からアドバイスをもらえたと聞いている。	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	11	0	0	0	園での様子をみてどのような支援が必要か担任の先生方と話し合いができているようで、担任からアドバイスをもらえたと聞いている。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	2	0	2	電話連絡をもらっている。	ホームページ等で自己評価結果を公表していく
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	8	1	0	2		
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	3		
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	10	0	0	1		
	28	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0	安心して利用させて頂いている。小学校入学には不安や心配しなかったが、訪問支援を利用し、学校での様子が知れて具体的なエピソードを伝えてくれ1学期を無事に過ごせた。親の心の安心のためにも利用して良かったと感じている。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				令和 6年 10月 30日	
堺市立つぼみ園		利用児童数				令和 6年 8 月 31 日 回収数 10	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9	1	0	・具体的に報告書記録を書いてくれるのでとても参考になる。 ・具体的に支援方法を書いてくれるのですぐに取り入れることができた。 ・いくつも具体的なアドバイスをしてもらってすぐに実行できた。	引き続き、訪問先の先生にわかりやすい助言や説明を心掛ける	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8	2	0	・満足している。こどもと関わっている姿を見るとやはり技術の高さを感じる。 ・児の課題に対して質問するといくつかの方法を提示し教えてもらった。 ・訪問日に児の様子について少しの時間でも話ができればありがたい。 ・わかりやすい説明をしてくれるので満足している。	訪問先の要望を聞きながら、話をする時間など調整していく	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	9	1	0	・適宜適切に回答を頂いている。 ・困りごとに対して、児の様子を見てアドバイスをしてくれる。適切な助言をしてくれる。		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7	2	0	・児の課題がはっきりとわかったので、解消するまでには至らなかったが、よい方向へ向かっていると思う。 ・保護者とも連絡をとってくれるので保護者の思いもきくことができる。 ・ポジティブな声掛けについてのアドバイスをもらい、意識して声をかけるようになった。 ・課題や困りごとを伝えと、適宜アドバイスや対応をしてくれ解消・軽減されている。	期間内で課題等、解消することが難しいケースはあるが、終了後も他の事業で相談できるよう検討していきたい	
5	事業所からの支援に満足していますか。	9	1	0	・満足している。 ・もらったアドバイスを参考に支援に取り組んでいる。 ・月1回児も来ることを安心して喜んでいる。 ・長期的な支援をうけたい。	できるだけたくさんの方に利用してもらえるよう期間を一定きめさせてもらっているが、必要なケースについては引き続き支援時期を検討していく	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応		
・いつも丁寧に話をきいてくれ、適切にアドバイスがもらえるのでありがたいと思った。ただ、毎月の訪問は負担になることもあった。頻度は事業所、学校で決められるといいなと思った。 ・お時間がある時でいいので、一日の様子をみていただけると嬉しいです。 ・保護者の希望なので助言はもらっていない。児の様子を伝えるだけで質問もしていない。 ・たくさんの児童がお世話になり、毎回丁寧に観察をしてくれフィードバックをもらっている。 ・いつも具体的にわかりやすくアドバイスをしてくださりありがとうございます。今後ともよろしく お願いします。					保護者の希望で開始されるため、訪問先が求めている時もある。そういうケースは訪問先に丁寧に説明し、訪問先のニーズを汲み取り、それに対応しながら取り組んでいきたい。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 6 年 10 月 30 日				
堺市立つぼみ園						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6	0	基本的には園（学校）で用意してもらっている。視覚支援などを参考にしてもらうために持参することがある。	引き続き、こどもに合った教材など紹介していく。わかりにくい時は実物を示しながら紹介する。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	配置数は適切だが兼務。職員の配置は他の事業など全体をみて行っている。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	業務改善や資質向上のため、月1回の地域支援会議や年に数回の南北会議に担当者が参加している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	支援終了時に保護者アンケートを取り、職員で共有している。検討事項があれば担当者への聞き取り等行い対応している。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	訪問支援担当会議で、業務内容やケースについて話し合っている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	集団指導の中で事業内容の確認・見直し等は行っているが、第三者の評価は受けていない。	第三者による評価を受けるための方法を検討していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	訪問支援担当会議や事業所内での研修やスーパーバイズを実施。他事業所との交流会を開催し学びの場としている。	訪問支援や地域支援に特化した研修は行っていないため、外部研修があれば参加していく。引き続き、事例検討や事業所との交流を行う。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6	0	保護者や訪問先の担任から姿や願いを丁寧に聞き取っている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	外部から申し込みをされた方は、保護者や担任以外からの情報は無い。状況に合わせて多職種で相談しアセスメントを行っている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6	0	訪問先へのアセスメントも丁寧に言い、訪問先の意向を反映し盛り込んでいるが、偏食など限られた時間の訪問では対応しきれない内容もある。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	複数の児童発達支援管理責任者により内容の検討をしている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	フォーマルな標準化されたツールは使用していないが、事業所内で統一されたアセスメントシートを使用している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインを支援員で共有した上で、具体的な支援内容を複数の職員で検討している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	11の項目で回答済	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	訪問先によっては開始前の打ち合わせが不十分な場合もあるが、訪問先のニーズに合わせて話し合いの時間を確保している。	短時間でも意識のずれが生じないためにも話し合いの時間は確保していただくようにする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	他の事業と兼務の職員ばかりなので、みんなが参加できるよう時間を調整することは難しいが、適宜振り返りを行っており、会議等で共有している。	支援の後、複数名で共有できる方法を検討していく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6	0	支援の押し付けにならないよう支援先の意向を確認しながら実施することを心掛けている。	

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6	0	必ず記録を取り、訪問先と保護者にフィードバックの前には、支援の検証や今後の支援の在り方は確認している。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	支援計画に記載されていること以外の相談にも必ず応じており、必要な時期に見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	会議への参加依頼がなく参加できていないケースがある。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	関係機関向けの見学会や交流会において、訪問支援についての理解を深めてもらい、連携をとる体制を整えている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	主に就学をまたいで利用することが多く、就学前の支援方法を引き継いでいけるよう情報共有を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	1	保育所等訪問支援に特化した研修等に参加したいという声がある。	引き続き、積極的に外部の研修に参加させていき質の向上を図る。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	0	事業所として各区の自立支援協議会に参加して、地域のニーズの把握や関係機関との関係構築を図っている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	支援後の報告を中心に、保護者とのやりとりを必ず行っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	訪問支援利用者向けの家族支援プログラムは実施していない。	土曜日クラブの「まなびの広場」や発達学習会などオンライン学習の案内などをしていく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	利用前のアセスメントの面談の際に丁寧な説明を行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6	0	利用前に丁寧な説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	「保護者の願い」に偏りがちな保護者には「子どもの願い」という視点で子どもを捉えられるよう丁寧に確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6	0	作成前にも丁寧な聞き取りを行い、作成後には計画書を示しながら内容確認している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	0	電話での報告だけではなく、家の様子を伺うこともある。リハビリ等の来所時に声をかけている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6	訪問支援事業の特性上、保護者会等の取り組みは難しい。	保護者同士の交流については、保護者のニーズをつかんでいき、開催方法や内容等検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	重要事項説明に苦情受付について記載しており契約の際に説明しているとともに、気になることは随時申し出てほしい旨伝えている。実際に相談があれば迅速に対応している。担当者だけで解決しにくいことは児童発達支援管理責任者にその都度相談している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	HPへの掲載はしているが、SNS等で定期的な発信はしていない。	個人情報に留意しながら、内容を検討しHP等を活用し発信していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	事業所内での研修やヒヤリハットにて職員の意識を高めている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	相手に応じた方法や時間など配慮している。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6	0	短時間でも電話等で相談に対応している。相談など受けた時は必要に応じて相談先など伝えている。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6	0	当日時間的に難しい場合は、園（学校）の都合に合わせて電話や書面で伝えたり、再度訪問して話し合う時もある。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6	0	必要に応じて家族への報告の内容や不適切な表現にならないよう確認している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	他の保護者に訪問支援を使っていることを含めて個人情報が漏れないよう配慮をしている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6	0	訪問先との信頼関係が大前提と考えている。訪問先のニーズや意向を確認することは必須。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	契約の際に非常時の対応について説明をしている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	事業所として行っており、非常時の対応を訓練している。	訪問先での非常時について、改めて担当者および訪問先と共有しておく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事業所として毎朝のミーティングで周知し、各部署でも同様のことが起きないようにしている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	職員研修を行うとともに契約の際に保護者へそのこと伝え、気になることはその都度報告いただきたい旨伝えている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	子どもに危険がある場合には身体拘束を行う場合がある旨を契約の際に確認はしているが、想定される場面がないため支援計画には記載していない。	